

# Autodesk MapGuide® Enterprise 2010 Update 1b Readme

# 1

Autodesk MapGuide Enterprise 2010 Update 1b をダウンロードしていただき、誠にありがとうございます。

Readme には、この更新プログラム(Update 1)のインストールおよび使用に関する最新の情報が記載されています。お使いの製品に更新プログラムを適用する前に、Readme 全体をお読みいただくことを強くお勧めします。簡単に参照できるよう、Readme をハードドライブに保存するか、印刷出力してください。

Readme には次のセクションが含まれます。

- 更新プログラムのインストール対象製品
- Autodesk MapGuide Enterprise 2010 Update 1b をインストールする
- この更新プログラムで解決された問題

## 更新プログラムのインストール対象製品

Update 1b は、Linux 上で動作しているすべての言語バージョンの Autodesk MapGuide Enterprise 2010 に適用できます。

---

**注:** お使いのオペレーティングシステムに対応する正しい言語バージョンの更新プログラムをご使用ください。詳細は、以下の サーバ/Web/FDO コンポーネントを Linux にインストールするをご覧ください。

---

# Autodesk MapGuide Enterprise 2010 Update 1b をインストールする

---

**重要:** Autodesk MapGuide Enterprise の更新プログラムをインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。MapGuide Server サービス、IIS/Apache など、特に MapGuide に関連したサービスは必ず終了してください。

---

Autodesk MapGuide Enterprise 2010 Update 1b をインストールしても、リポジトリやデータは変更されません。管理者は現在のインストールとリポジトリをバックアップすることを推奨します。一般に、管理者やユーザが変更したファイルは上書きされることがあります。

製品サポートの Web サイトから、Linux に対応する更新ファイルをダウンロードします。更新ファイルをコンピュータの一時フォルダにコピーし、次の手順でファイルを実行します。

## Linux にインストールする

Update 1b をインストールすると、一部の設定ファイルが変更されます。一般に、これらのファイルは管理者が直接変更したか、Site Administrator で変更されたものです。次のファイルはバックアップして、インストール終了後に元に戻す必要があります。

- `opt/Autodesk/mapguideenterprise/server/bin/serverconfig.ini`
- `opt/Autodesk/mapguideenterprise/server/wfs/ogcwfsservice.config.awd` (このファイルは、通常は Site Administrator で変更されます。)
- `opt/Autodesk/mapguideenterprise/server/wms/ogcwmservice.config.awd` (このファイルは、通常は Site Administrator で変更されます。)
- `opt/Autodesk/mapguideenterprise/webserverextensions/apache2/conf/httpd.conf`
- `opt/Autodesk/mapguideenterprise/webserverextensions/apache2/conf/mapguide.conf`
- `opt/Autodesk/mapguideenterprise/webserverextensions/php/lib/php.ini`

## サーバ/Web/FDO コンポーネントを Linux にインストールする

- 1 次の Update 1b ファイルをダウンロードします。
  - `mapguideenterprise2010-server-2.1.0.3701-1.i386.rpm`

■ *mapguideenterprise2010-webextension-2.1.0.3701-1.i386.rpm*

■ *fdo-3.4.0.54.tgz*

---

**注:** お使いの言語(ドイツ語、日本語、フランス語など)に対応したサーバと Web Extension の更新ファイルをダウンロードし、インストールしてください。たとえば、ドイツ語バージョンの MapGuide Enterprise を使用する場合は、*mapguideenterprise2010deu-server-2.1.0.3701-1.i386.rpm* と *mapguideenterprise2010deu-webextension-2.1.0.3701-1.i386.rpm* をダウンロードする必要があります。FDO 更新ファイルはどの言語にも対応しています。

---

- 2 MapGuide Enterprise 2010 サービス(デーモン)、Apache サーバ、および Tomcat サーバを停止してください。
- 3 インストールされている既存の FDO をアンインストールします。シェルから */usr/local/fdo-3.4.0.* にナビゲートして実行し */uninstall* と入力します。
- 4 MapGuide Enterprise Web Extensions をアンインストールします。シェルから *rpm -qa |grep mapguide* を実行します。これによりインストールされている RPM のバージョンがリストされます。Web Extensions RPM に *rpm -e rpm-name* を実行します。
- 5 Server RPM に手順 4 を繰り返し行います。
- 6 FDO 更新プログラムをインストールするには、*tar -xzf mapguideenterprise2010-fdo-3.4.0.5401.tgz* を実行します。次に、*./install* を展開済みの *fdo-3.4.0.5401* フォルダから実行して更新を適用します。
- 7 サーバをインストールするには、ファイル ブラウザまたは *rpm -ivh rpm-name* から Server RPM をダブルクリックします。
- 8 Web Extensions に手順 7 を繰り返し行います。
- 9 手順 1 を行う前にバックアップし上書きされた設定ファイルを置換します。
- 10 サービスを再起動し、MapGuide Enterprise サイトにアクセスして問題がないことを確認します。

## Autodesk MapGuide Studio の Update をインストール

Autodesk MapGuide Studio は Windows にのみインストールできます。

---

**注:** Update 1b をインストールする前に MapGuide Studio Update 1 をインストールする必要があります。

---

### MapGuide Studio Update 1 をインストールする

- 1 次の Update 1 ファイルを一時フォルダにダウンロードします。
  - *AutodeskMapGuideStudio2010Update1.exe*
- 2 MapGuide Studio 2010 を終了します。
- 3 手順 1 でダウンロードした更新ファイルを実行します。このインストールを実行するには、管理者権限かパワー ユーザ権限が必要になる場合があります。
- 4 次の Update 1b Hotfix を一時フォルダにダウンロードし、Readme.txt に記載されている指示に従います。
  - *MGStudio2010Update1b.zip*
- 5 手順 4 でダウンロードした更新ファイルを実行します。手順 4 の .zip ファイルに含まれている bat ファイルを実行するには、管理者権限またはパワー ユーザ権限が必要な場合があります。
- 6 MapGuide Studio 2010 を起動します。

---

**注:** MapGuide Studio 2010 は英語でのみ利用できるため、言語別の更新ファイルはありません。

---

## この更新プログラムで解決された問題

Autodesk MapGuide Enterprise 2010 Update 1b をインストールすると、次の問題を解決できます。

- DWF出力時に凡例に作成される画層アイコンは小さすぎました。

- WMS接続にて、ローカル座標系に設定された境界ボックスが誤っていた問題が修正されました。WMS(ウェブ マップ サービス)の接続に関する追加のご注意: version=1.x.x のパラメータを Studio の接続の URL に含める必要があります。
- WMS を再投影中に、不要な座標系の変換によりローカル座標系にオフセットして表示されていました。(外部 WMS のソースは正しい座標系の確認に config.xml を必要とする場合があります。詳細に関しては [http://sandbox.mapguide.com/index.php/Web\\_Mapping\\_Service](http://sandbox.mapguide.com/index.php/Web_Mapping_Service) をご覧ください。)
- Basic Web Layout の再ロード中に、2つのサーバ間のロードの再調整に失敗していました。ロードバランスは、最初の接続に失敗した応答のないサーバを削除するようになりました。再接続要求期間を設定し、サーバがオンラインに戻った時、サーバのラウンドロビンポーリングに含まれます。接続に失敗した場合は、ブラウザユーザは、新しいサーバを見つけるためにセッションを更新する必要があります。
- ネストされた MapGuide リーダは、プロバイダがマルチスレッドの場合、異なる FDO 接続を使用していました。
- サイト管理の操作は、ロードバランスを表示しませんでした。すべての負荷がロードバランスサーバ群のリストを提供するための操作が強化されました。
- Linux 上で Autodesk ラスター プロバイダを使用するには、大量のメモリを消費する場合があります、結果として MapGuide サーバの処理に失敗していました。
- TCP/IP 接続は常にリリースされていたわけではなく、時々無効なストリーム ヘッダのエラーが発生していました。
- 多くのラスターを含む管理されていないデータとフォルダのラスター接続は、失敗またはタイムアウトになる場合があります、Studio 内で何回も保存する必要があります。Studio 内の接続エディタは、基本となる config.xml が生成されるまでタイムアウトになることはなくなりました。
- Linux 上で MapGuide Enterprise 2010 Server に対するバッファの作成は、null エラーにより失敗していました。
- ラスター イメージはタイル表示マップでは機能しないようになりました。
- 識別プロパティタイプに問題があったため、一部のFDO フィーチャソースの検索に失敗することがありました。

- Flexible Web Layout の検索コマンドは、タスク ペインから実行すると正しく実行されませんでした。
- ラベルにアラビア語やヘブライ語の文字を正しく表示できませんでした。
- 道路データ上のラベルの表示が一貫性を欠いていました。
- Autodesk Raster Provider を使用した際に、Linux サーバ上の tiff カタログに正しくアクセスできませんでした。
- Autodesk Raster Provider では、細いストリップ イメージが正しくレンダリングされませんでした。
- Linux サーバ上の Ajax ビューアで日本語フォントが使用されていると、フィーチャラベルが表示されませんでした。
- シンボルライブラリに多数のシンボルを使用すると、エラーが発生することがありました。
- ポイント画層のスタイル設定時に[Symbol Library]を選択すると、エラーが発生することがありました。
- シンボルライブラリエディタ、シンボルプレビュー、およびマップの凡例では、シンボル表示が正しくありませんでした。
- Autodesk MapGuide Studio 2010 では、[Allow other labels to obscure feature symbols on this layer]オプションがありませんでした。
- Windows 2003 Server マシン上で Oracle 10g データとともに Autodesk MapGuide Enterprise を使用すると、メモリが大量に消費されました。
- Linux サーバでは、データ要求時のメモリリークによって、サーバのメモリ不足が予期せずに発生しました。
- 選択セットの要求によって、メモリが大量に消費されました。
- MapGuide Server は、大きなスキーマを備えた Oracle データベースにアクセスすると、メモリ不足になりました。
- 座標系を変換すると CPU の利用が制限され、複数の人がシステムを同時に使用できませんでした。
- Fusion の *Common.php* および PHP API の *common.php* は、FormatMessage で間違った関数呼び出しを使用しているため、例外が正しく発生しませんでした。

- ファイルの接続が解放されると、ラスタイメージに予期しない結果が生じました。
- 高度なログ機能を有効にすると、警告エラーメッセージが表示されました。
- 空間インデックスのエラーのため、一部の古いSDFファイルが開けませんでした。
- FDO WFS プロバイダは、サーバからすべてのフィーチャ クラスを取得しませんでした。
- SQL Server プロバイダに、null ジオメトリが存在すると、予期しない結果が生じました。
- Oracle Spatial プロバイダでは、ジオメトリに null の z 高度座標値が存在すると、すべてのフィーチャが表示されませんでした。
- SDF ファイルを Oracle フィーチャ クラスに結合しても、機能しませんでした。

**Copyright © 2009 Autodesk, Inc.**

